



詳細については「日本美しの森 お薦め国有林」のウェブサイト
(http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/)をご覧ください。



にっぽん
「日本美しの森 お薦め国有林」のご紹介



みさおやま

操山自然休養林（岡山市岡山市）

【概要】

JR 岡山駅から東に約 4 km。岡山市街地の中心部に位置し、標高 130 ~ 170 m の山々が東西方向に連なる丘陵地で、旗振台展望所からは、吉備高原の山々や瀬戸内海の島々を眺望することができます。

操山はかつて御林と呼ばれた藩有林であり、水戸の偕楽園、金沢の兼六園と並び日本三名園の一つ「岡山後楽園」の借景として景観を維持しています。

【見どころ】

操山は岡山市街地の中心部にありながら、豊かな自然と数多くの古墳や中世城跡等の歴史にふれることができる市民憩いの森林となっており、複数の歩道が整備されています。

林内には、カシ・ナラ・クヌギ等の混交林に加え、山頂から西側尾根筋へ下ったところには、防火樹として植栽されたカナメモチがトンネル道を形成し、夏の日差しを和らげてくれます。

また、ルリビタキやジョウビタキ、コゲラ等の鳥類が生息するほか、ルリタテハ、ツバメシジミ、ハンミョウ等の昆虫を見ることが出来ます。

操山の北側の山麓には、操山の豊かな自然や人と自然が調和した里山の暮らしを学べる操山公園里山センター（(公財)岡山市公園協会）があり、操山をフィールドとしたバードウォッチング、昆虫観察会の開催、炭焼小屋や里山農園での体験など親子で楽しむことが出来ます。

※記事で紹介しております施設開園状況やイベント開催等については、事前に HP 等で情報をご確認ください。

操山公園里山センター（岡山市公園協会）

<https://www.okayama-park.or.jp/facility/satoyama>



後楽園からの操山（借景）



カナメモチのトンネル



ルリビタキ



ルリタテハ



ハンミョウ



コゲラ

(写真提供: (公財) 岡山市公園協会操山公園里山センター)



2020
No.160

【表紙の写真】

仲間川上流のサキシマスオウノキ
(沖縄県竹富町 西表島)

Contents

- 03 特集 森林組合法改正 ～森林組合の経営基盤強化に向けて～
- 07 特集 聞き書き甲子園
- 12 特集 「美しの森」を楽しもう!!
- 16 TOPICS 01 「新しい生活様式」を森林や木材との関わりを持ちながら実践しよう
- 18 TOPICS 02 一般社団法人日本森林学会 2019年度の「林業遺産」に6件が選定されました!
- 19 みどりの女神が行く!



森林組合法改正

～森林組合の経営基盤強化に向けて～

一 はじめに



令和2年5月28日に「森林組合法の一部を改正する法律」が成立しました。今回の改正は、森林・林業政策が大きな転換期にある中、森林組合が地域の林業経営の重要な担い手として、その能力を発揮できるような制度の見直しを行ったものです。

本稿においては、森林組合法の改正に至った背景や改正内容について御説明します。

二 改正の背景



現在、我が国の森林については、戦後造成された人工林の多くが本格的な利用期を迎えています。この豊富な森林資源を、「伐って、使って、植える」という形で循環利用していくことが重要になります。

このようなか、平成31年4月には森林経営管理制度の運用が開始されました。この制度は、森林所有者自らが経営管理できない森林について、市町村が仲介役となって森林所有者と林業経営者をつなぎ、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図る新たな仕組みです。

この仕組みの中で、地域の林業経営の重要な担い手である森林組合は、森林経営管理制度の担い手である「意欲と能力のある林業経営者」として、森林の経営管理の集積・集約、木材の販売等の強化、さらにこれらを通じて山元への一層の利益還元を進めていくことが期待されています。このため、森林組合の経営基盤の強化を図ることができるよう、組

合間の多様な連携手法の導入、正組員資格の拡大、事業の執行体制の強化などを内容とする森林組合法の一部改正が行われることとなったものです。

三 改正の概要



(一) 組合間の多様な連携手法の導入

森林組合の経営基盤の更なる強化に向けて、現場の創意工夫をこれまで以上に活かすことができるよう、事業ごとの連携強化が可能となるような枠組み

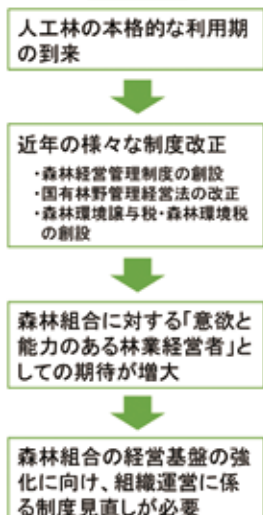
対応方向

- 1 組合間の多様な連携手法の導入**
 - 合併に加え、事業ごとの連携強化が可能となるよう、事業譲渡、吸収分割、新設分割の手法を用意
- 2 正組員資格の拡大**
 - 森林所有者の指定により正組員となる場合について、要件を「同一世帯内」から「推定相続人」に見直すとともに、人数制限を撤廃
- 3 事業の執行体制の強化**
 - 販売事業等又は法人の経営に関し実践的な能力を有する理事を一名以上配置することを義務付け
 - 理事の年齢・性別への配慮
 - 林業所得の増大への配慮

課題

- **販売規模の一層の拡大**
 - 合併等を背景に、1組合当たりの生産量は増大
 - 一方で、販売規模等が小さい組合も依然として相当数存在
- **後継者世代や女性の参画に遅れ**
 - 組合員・理事の年齢・性別に偏り
 - 森林所有者の指定により正組員になれるのは、同一世帯内で1名のみ
- **理事会運営の活性化**
 - 販売部門の重要性の増大に対応し、能力のある理事の確保・育成が必要
 - 林業従事者を含む山元への一層の利益還元が必要

背景



森林組合の経営基盤の強化に向けた課題と対応方向

を用意することとし、①事業譲渡、②吸収分割、③新設分割の手法を取り入れることとなりました。

森林組合の経営基盤の強化に向けては、これまで合併による財務基盤の強化、事務業務の拡大効率化を推進してきた結果、昭和29年度に5,289存在した森林組合は、平成29年度末時点では621となつています。合併の進展等を背景に、1組合当たりの組合員所有林面積が拡大し、常勤役員数や事業利益、素材生産量や販売量も着実に増加しています。しかしながら、木材の販売先である製材工場等の大規模化が進んでいる中、販売規模等が小さい組合・連合会も依然として一定割合存在しています。また、合併では地理的な広域化に限界があること、森林組合を残したい場合に地元調整が進まないことなどにより、合併を進めることが難しい地域もあります。

今回の改正により、森林組合は、合併に限らずそれぞれの状況に応じた連携手法の選択が可能になり、組合間の連携が促進されることで、経営基盤の強化が図られることが期待されます。

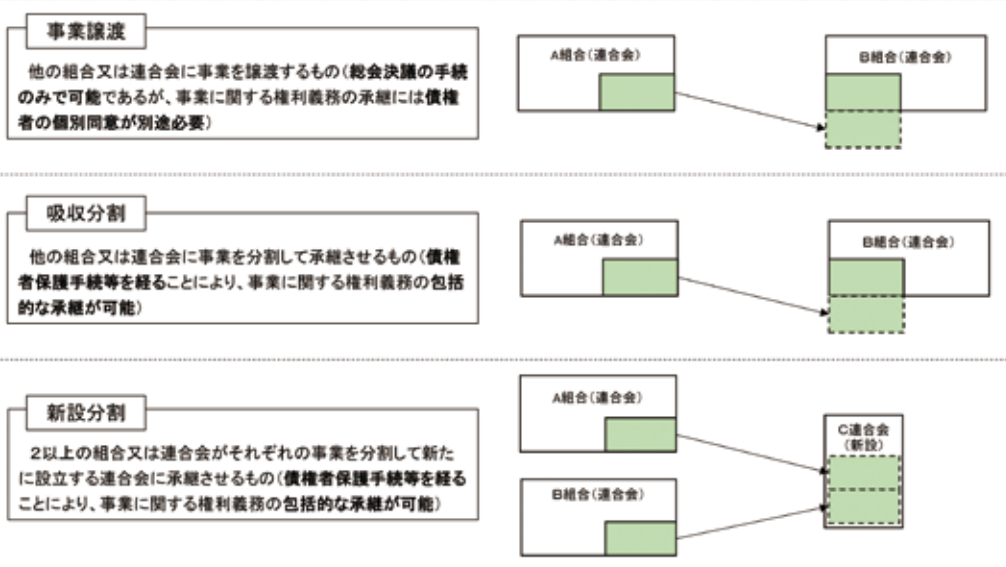
① 事業譲渡

事業譲渡は、森林組合等が他の森林組合等に事業の全部又は一部の譲渡を行うものであり、事業の受け手側の組合が規模拡大によって事業を効率的に実施し、事業の出し手側の組合が強みとする事業に専念することを旨とする場合などに用いられる連携手法です。

改正前の森林組合法においては、事業譲渡に関する明文上の規定がなく、手続等が不透明であったことから、今回明文化することとなったものです。

② 吸収分割

吸収分割は、事業譲渡と同様に、事業の受け手側



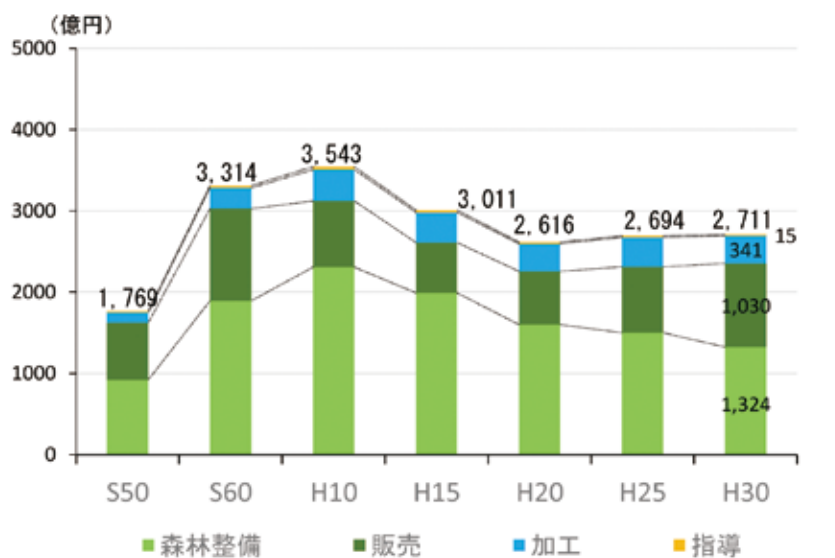
新たな連携手法のイメージ図

の組合が規模拡大によって事業を効率的に実施し、事業の出し手側の組合が強みとする事業に専念することを旨とする場合などに用いられる連携手法です。事業譲渡と異なり、債権者保護手続を経ることなく、事業に係る権利義務を分割して、包括的に承継することが可能である一方、行政庁への認可申請、登記を行う必要



・資料: 林野庁「森林組合統計」、農林水産省経営局「総合農協統計表」
 ・農協は、個人の正組合員を集計

正組合員に占める女性の割合



資料: 林野庁「森林組合統計」

森林組合の事業取扱高の推移

があります。

このため、販売部門の広域連携など、関係者が多く、事業連携が広範囲に及ぶものについては、権利義務関係を包括承継させることが可能な吸収分割を利用することが想定されます。

③新設分割

新設分割は、2以上の森林組合等が、それぞれ事業に係る権利義務を分割し、新たに設立する連合会に、その事業に係る権利義務を包括的に承継することとを可能とする手法です。

例えば、県域を越えた木材流通の取りまとめ、大規

模工場等に対する価格交渉、海外輸出への展開など県域を越える広域的な販売体制の強化を図る場合に、新設分割を利用して販売部門を統合した連合会を設立することが想定されます。

(二) 正組合員資格の拡大

正組合員資格について、「同一の世帯に属する者」を「推定相続人」（民法に定められた、相続が開始した場合に相続人となるべき者）に改めるとともに、指定を受けることができる人数の制限を廃止することとなりました。

これまで、正組合員資格は、同一世帯に属する者で、森林所有者から森林の経営の委託を受けている者のうち、森林所有者が指定する一人の者が有しているとしていました（いわゆる「後継者規定」）。

しかしながら、この後継者規定については、核家族化の進展により、経営に参画している者が別世帯となっていることや、配偶者と子など複数の者が経営に参画している場合にそのうちの一名しか指定できないことで、指定が行われにくいといった声が現場からありました。

今回の改正により、若年層や女性の参画が進み、多様な意見が取り入れられることで、組合の活性化につながることを期待されます。

(三) 事業の執行体制の強化

①販売事業等に関し

実践的な能力を有する理事の配置

森林組合のマーケティング強化を促進するため、販売事業等に関し実践的な能力を有する理事一人以上の配置を義務付けることとなりました。

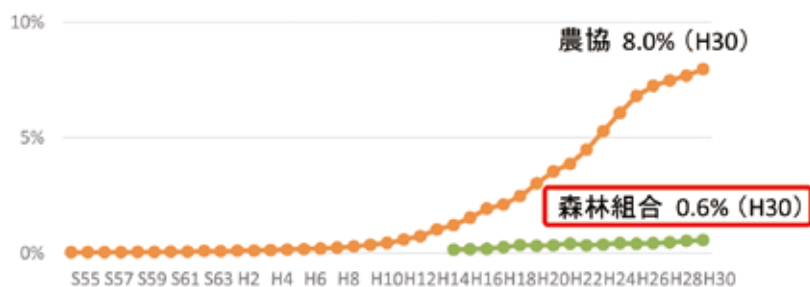
人工林資源が充実する中で、森林組合の販売事業の取扱高は近年増加しており、その部門別割合も高まっています。このため、組合員等の収入に直結する木材の価値を高め、山元への一層の利益還元を行うていくことができるようにするためには、販売事業を強化することが特に重要です。

大規模製材工場等の新たな需要先の開拓や木材の有利販売の実現など、販売事業の強化に当たっては、組合の経営を担う理事会に販売事業に精通した者が必要であることから、今回このような規定が法律上

に明文化されることとなったものです。

なお、このような能力を有する理事の配置については、組合の役員の任期が3年以内において定款で定める期間とされていることを踏まえ、改正法施行時の理事について改選選挙を求めるといった組合への負担が生じないよう、施行日から起算して3年を経過した日以後最初に招集される通常総会までの間、適用しない旨の経過措置を置くこととなりました。

林野庁としても、令和2年度予算において新たに設置した、これからの林業経営を担う人材の育成を図るための予算も活用しながら、実践的な能力を有する理事の育成、確保を推進してまいりたいと考え



資料: 林野庁「森林組合統計」、農林水産省経営局「総合農協統計表」

役員に占める女性の割合



資料: 林野庁調べ(R元, 7月)

森林組合の理事の年齢構成

ております。

② 理事の年齢及び性別に

著しい偏りが生じないことへの配慮

若年層や女性の参画を促進するため、理事の年齢や性別に著しい偏りが生じないことへの配慮規定を新たに設けることとなりました。

森林組合の役員に占める女性の割合は0.6%(林野庁「H30森林組合統計」)にとどまり、理事の年齢構成については、61歳以上が約9割(R元林野庁調べ)を占めているなど、現在の理事の構成は、高齢の男性に偏っています。理事についても、若年層や女性といった多様な人材の参画を促進することで、組合運営の活性化につながることを期待されます。

③ 事業運営に当たっての配慮

事業の目的を定めた森林組合法第4条において、「営利を目的」としてその事業を行ってはならない」とする規定を削除し、利益を追求することが禁止されていないことを法律上明らかにするとともに、森林組合による組合員への利益の還元や組合の事業に従事する者の処遇改善を促すため、「森林の有する公益的機能の維持増進を図りつつ、林業所得の増大に最大限の配慮」をしなければならない旨の規定を追加することとなりました。

これは、森林組合が、森林経営管理制度の創設等を受けて、「意欲

と能力のある林業経営者」として、山元への一層の利益還元を進めていくとともに、森林組合法が目的とする森林の保続培養及び森林生産力の増進を図るに当たっても、その役割を果たすことが期待されていることを踏まえ、措置されたものです。

(四) その他の改正事項

農協、漁協について同様の改正が既に措置済みであることも踏まえ、次の3点について改正することとなりました。

- ① 現場で活用されていない専用契約(組合員が所属する森林組合の事業の一部を専ら利用すべき旨の契約)に関する規定を削除することとなりました。
- ② 役員の競業禁止義務に関する規定を削除することとなりました。
- ③ 出資一口の金額の減少、合併等における債権者の異議申立手続の簡素化を行うこととなりました。

四 おわりに

今回の改正において導入する組合間の多様な連携手法など、どのような手法により経営基盤の強化を図るかという点については、それぞれの連合会、森林組合において自ら御検討いただくものですが、林野庁としても、都道府県等と連携し、その取組を支援していきたいと考えています。

森林組合系統におかれては、ぜひこうした状況を大きなチャンスと捉え、地域の森林管理の中心的な担い手として、更なる経営の発展を実現されることを期待しています。





聞き書き甲子園



日本は、森の国。
面積の約7割は、森林がおおっています。



日本は、島の国。
その連なりは、南北およそ3,500キロ。
周囲を海に囲まれています。

地域ごとに異なる気候や風土。
文化、そして暮らし。
そんな日本の各地を旅してみませんか。



聞き書き甲子園は、
高校生が、日本のさまざまな地域で暮らす
森・川・海の名人を訪ね、
一対一で「聞き書き」するプロジェクトです。

名人の職業は、^{きこり}樵や炭焼き、木工職人、
漁師、海女など、さまざま。



高校生は、名人が大切にしてきた、
自然とともに生きる知恵や技術、そして心を
ていねいに聞いていきます。



そこには、これからの持続可能な社会をつくる
ヒントがあるのかもしれません。



聞き書き甲子園とは

「聞き書き甲子園」は、農林水産省の関連団体より選定・表彰される森・川・海の「名人」を全国の高校生が訪ね、「聞き書き」する活動として、平成十四年度にスタートしましたが、本年度より、高校生の受け入れと名人の推薦に協力していただける市町村（地域）を公募し、各地域が推薦する複数の「名人」を、高校生が一对一で「聞き書き」する形で実施しています。

「聞き書き」の基本は、一对一のコミュニケーションです。高校生は、「名人」との対話をすべて録音し、その言葉を一言一句、書き起こし、「名人」の言葉だけを使い、方言など、その語り口を生かして作品にまとめていきます。

高校生は、「聞き書き」を通して「名人」の知恵や技（わざ）、そして、その



生きざま（人生）を受け止めます。「森が泣いている」「村が寂しくなった」と語る「名人」の思いに少しでも応えたいと、里山里海の保全や地域活性化に取り組み卒業生の活動も生まれました。

「聞き書き」は祖父母の世代から孫の世代へと、生きる知恵や心をつなぐ活動です。コミュニケーション教育やESD（持続可能な開発のための教育）の事例としても高く評価されています。

もともとこの活動は、平成十四年に林野庁と文部科学省による事業として始まりしました。当時、林野庁では、きこりや造林手、炭焼き、木地師^{きじし}など、森を守り、育て、その恵みを生かす知恵や技術を持つ人を「森の名手・名人」として選定・表彰する制度を立ち上げようとしていました。その検討を行う委員会は、民間の有識者によって構成されていましたが、その委員の一人であった作家の塩野米松氏^{しののよねまつ}から、「ただ表彰するだけではもったいない。その知恵や技術を記録に残すために高校生による『聞き書き』を行ってはどうか」という提案がありました。

塩野氏は、この活動のベースとなる、ヒントをお持ちでした。それは米国の「OXFORD」という取組です。一九六六年、米国・ジョージア州で、一人の高校教師がアラバチア山麓に暮らすお年寄りのもとへ生徒たちをかわせ、家の

建て方や薬草の採り方など、暮らしの中の知恵や技術を取材し、レポートにまとめさせたのです。その記録は後に出版され、大きな反響を呼びます。「OXFORD」とは、直訳すると「きつね火」ですが、同地域では「自然」という教師が人間に与え続ける知恵の象徴^{しやうけう}という意味もあるといいます。

自然とともに生きてきた人間の知恵や技術、そこで育まれてきた心を、日本でも記録にとどめようと、当時の林野庁担当者は、文部科学省と話し合い、「第一回森の聞き書き甲子園」を実現しました。

現在、「聞き書き甲子園」は、農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワークで構成する「聞き書き甲子園実行委員会」が主催し、(株)ファミリマートの「夢の掛け橋募金」をはじめ、複数の企業・団体からの協賛・助成・協力により運営しています。

高校生が聞き書きした作品は、年度ごとに冊子にまとめ、関係各所に配布するとともに、インターネット上の「聞き書き電子図書館」に集積し、検索・閲覧に供しています。また、平成二十三年には長編ドキュメンタリー映画「森聞き」も制作され、現在も全国各地で上映会が開催されています。

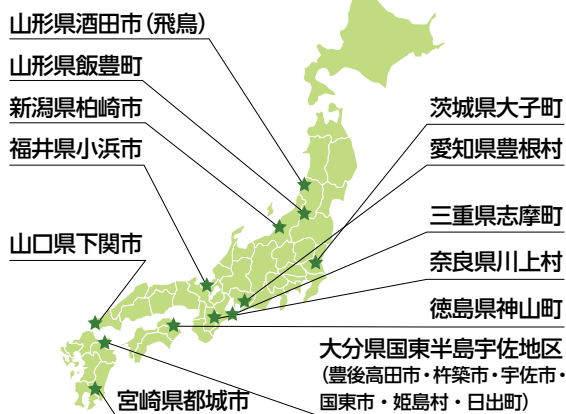


お問合せ先
(書籍・電子図書館)
共存の森ネットワーク
contact@kikigaki.net
(映画)プロダクション・エイシア
morkiki@asia-documentary.com





2019年度の受け入れ地域



第十八回 「聞き書き甲子園」の概要

第十八回目の実施となる「聞き書き甲子園」は、五月中旬から参加高校生の募集を開始し、八月には、全国から選ばれた八十名の高校生たちが東京都内に集まり、三泊四日の事前研修会によりインタビューやテープ起こし、写真撮影の仕方など「聞き書き」に必要な手法を学びました。

その後、高校生たちは、事前研修会で学んだことを踏まえ、八月下旬から十二月の間に原則として二回、受け入れ地域の「森・川・海の名人」の仕事場を訪ね、初めて見聞きする名人の知恵や技、生き方などについて、名人へのインタビューを行いました。高校生

は、名人との対話をボイスレコーダーなどに全て録音し、膨大な音声データを一字一句書き起こし、名人の語り口（方言など）を損なわない形で編集し、名人の技や生きざま（人生）が読み手に伝わるよう構成等を工夫して、十二月中旬までに五千字程度の「聞き書き」作品を仕上げました。

年度末の三月三十一日には、「聞き書き甲子園」の成果発表の場として、東

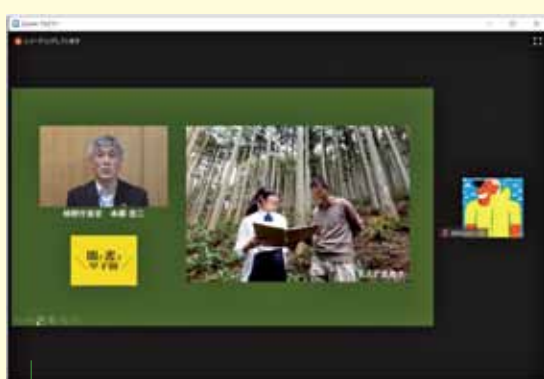
聞き書き甲子園の1年



京都庁都民ホールにおいて「第十八回聞き書き甲子園フォーラム」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、開催日を六月十三日に延期するとともに、オンラインでの開催に変更しました。オンラインフォーラムでは、高校生の「聞き書き」に協力いただいた全国十二地域（市町村や地域団体）の紹介や、高校生が、作家の塩野米松氏及びエッセイストの阿川佐和子氏を聞き手に迎え、聞き書きの体験や取材時のエピソードに関する対談を行いました。

今回、はじめてのオンライン開催となりましたが、会場で開催していた時に比べるとより多くの方に参加いただけたことや、高校生が地元でフォーラムに参加できたことは、「聞き書き甲子園」の効果的な普及方法の発見につながりました。

※聞き書き甲子園の協力市町村（地域）公募については、こちらをご覧ください。
(<https://www.kikigaki.net/join>)



林野庁長官からのビデオメッセージ



事前研修会に集まった80人の高校生

農林水産大臣賞

タイトル… 動物と共存できる未来へ
 高校生… 里崎光 (長崎県立平戸高校2年)
 名 人… 河田紀美江 (山口県下関市)

私は最初から山の勉強、森づくりの勉強をして嫁いできたわけやない。だから爺ちゃんと山に行つて、爺ちゃんの言う通りにスギとヒノキばかり植えてたね。それからいろいろ書物を読んだり、苗木を作ること覚えた。そして誰よりも先にカヤの木を買ってきて植えようとしたわけよ。「これからの先の森づくりは山の木をいっぱい売らんやなくて、二、三本売ったら一年の生活費があるような森づくりをするんよ」って言ったんよ。

(サカキとかシバはもう三十年くらい前かな。私が考えたんは、ちよっと植えたんじゃ駄目。植える量を増やすんよ。ポット苗は植えたら百%っていてもええぐらい木が枯れずに育つ。他の苗やったら三割ぐらいは枯れるかな。でも上手く雨が降ってくれにやあね。山だつて右から左に儲かるもんじゃないんよ。

あとは全ての動物と共存せにやならん。でもそれはやっぱり大変なことよね。鹿、タヌキ、ウサギ、猿、イノシシとかの動物と、どのくらい共存できるのかはわからない。でも植林をしす

ぎたから動物の食べるものが無くなつたとは一概には言えんと思う。そりや確かに奥山の方まで植林するのは水害が起きたりもするし良くないと思う。水害はその時の雨量、土質、いろいろなことが重なって起きるんよ。そういうことを考えたら山の上まで植林するのはよそ。山桜でもええし、なんでもええから山の上の方に実をいっぱいつける木を植えといたら、動物が里に出てくるのは、少しは変わらと思う。人間も欲と二人連れやからやつてしまふんよね。もう少し知恵を働かさないうけん。人間が自分ばかりのこと考えてもなかなか良いことない。



サカキの出荷

林野庁長官賞

タイトル… 紙漉き屋さんを思いやり、良い楮を作るんだ
 高校生… 遠藤愛斗 (岩手県立盛岡農業高校1年)
 名 人… 齋藤邦彦 (茨城県大子町)

楮はクワ科で、十二月頃になると全部の葉っぱが落ちる木なんだ。私や大子町を含めて育てているのは大子那須楮。和紙の原料なんだけど、楮の木は幹の皮の繊維を使うんだよ。収穫した楮を蒸して柔らかくした後、一本一本幹の皮を手作業で剥ぐ。そうして剥がした皮が硬くならないよう、今度は一晩水に浸して、黒い皮や甘皮っていう緑色の皮がついてるのを、小包丁で剥いで白くするんだ。私の仕事としてはこの表皮取りの作業が一番手間かかるかな。

岐阜県的美濃和紙や福井県の越前奉書紙は私の楮使ってるんだよ。美濃和紙や越前奉書紙は文化財の修復とか高級な絵とか、書物、木版画とか掛け軸とか障子紙にも使われるんだよ。私の楮は世界にも和紙として送っていて、東京オリピックの表彰状の和紙の原料の楮は九十五%以上うちの楮を使って、美濃の紙漉き屋さんが和紙を漉いてるんだ。

うちの楮の量は少ないけど、品質は日本一の自信がある。本美濃和紙とかの良い和紙のための楮を頑張って栽培

して、加工して使われるってことはやりがいだね。

目標は楮農家や加工する人が絶えず、いてくれることかな。あとは楮農家と加工の収入が安定して、紙漉き屋さんとの取引ができて楮農家を続ける人が安心して生活できるような仕組みをつくりたいと思うてるよ。そして続ける人が出てきてくれるとうれしいね。楮農家も紙漉き屋さんもお互いの状況を見たり、体験しながらお互いを尊重することが大事だと思うんだ。



楮の芽かきをする名人



「KIKI-GAKI」 を世界の共通語に

インドネシアは、豊かな生物多様性を有する熱帯林保有国である一方、国や企業による大規模なプランテーション開発や人口増加により、近年、森林消失が深刻化しています。自然を搾取しすぎることなくバランスをとりながら、持続可能な形で利用する知恵や技術を普及するとともに、次世代への環境教育を普及することも急務となっていました。

そこで、聞き書き甲子園実行委員会事務局のNPO法人共存の森ネットワークは、これまで十年以上にわたって実施している「聞き書き甲子園」のノウハウをインドネシアに移転し、国



平成27年にはマラサリ村で聞き書きを実施

際的な環境教育プログラムとして確立する取組を始めました。

平成二十四年四月には、「聞き書き甲子園」の参加校であった筑波大学付属坂戸高校と姉妹校提携をしていたバゴール農科大学附属コルニタ高校の教員を対象に、まずは「聞き書き」指導者養成研修を開催しました。同年九月には、生徒約四十名がグヌングデパンランゴ国立公園職員のサポートのもと、竹細工の名人などに「聞き書き」を行いました。

一方、筑波大学附属坂戸高校でも、有機農業に取り組む名人などに「聞き書き」を実施し、両国の伝統や文化を比較しながら、将来の暮らしのあり方について発表・交流するプログラムとしました。

本プログラムには、インドネシアの林業環境省や国立公園職員、現地NGOをはじめ、スラウエシ島のパル市からも教員やNGOスタッフが視察に訪れました。後日、パル市などでは、一般社団法人あいあいネットと協働で、四つの高校の生徒と教員を対象に、「聞き書き」研修を実施しました。インドネシアでは、公用語であるインドネシア語以外に、スンダ族はスンダ語、カイリ族はカイリ語など、特に高齢者にとっては民族固有の言語が日常言語であり、高校生にとっては、改めて地域

や民族固有の文化を見つめ直すきっかけにもなりました。

また、平成二十八年三月に開催された「第十四回聞き書き甲子園フォーラム」では、インドネシアにおける聞き書きの実践について、インドネシアの高校生による発表が行われ、その後のワークショップでは日本の高校生と一緒に「私たちがつくる地域の未来」をテーマに意見交換が行われました。

当初、コルニタ高校からはじまったこの取組は、現在では、インドネシアの「KIKI-GAKI」として、ジャワ島、スラウエシ島、カリマンタン島各地の高校生・大学生が「聞き書き」を実践しています。



研修に参加したコルニタ高校の生徒たち

「KIKI-GAKI」 への期待



NPO法人共存の森
ネットワーク
理事長 渋澤 寿一

私たちは、マネー（お金）を共通言語としながら、合理的な社会をつくってきました。企業はひたすら利益を追求し、消費者となった私たちは、衣食住も暮らしの安心も、すべてお金で買えると錯覚しています。

一方で、名人は、身近な自然とコミュニティによって生かされ、生きてきました。先祖代々、森と向き合い、坦々と働きつづけてきた人生がそこにはあります。高校生は「聞く」ことを通して、名人と自分の心を重ねていきます。人は、敬愛と共感によって繋がるのです。

昨今のアジアは、急激な経済成長により、環境破壊が進み、伝統的なコミュニティや地域固有の言語や文化が失われつつあります。そのときに、自らのアイデンティティを保つ原点は、やはり聞き書きではないかと私は考えています。

アジア各国の聞き書きを通して、私たちは、いまだ気づいていない社会の価値や幸せな生き方を考えるヒントに出会える気がしています。

「美しい森」を 楽しもう!!

Part I : 東日本(北海道～中部) 編

日本の国土の大部分は、美しく豊かな森林につつまれています。林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、全国の国有林に設定した「レクリエーションの森」の中から、特にみなさまにお薦めしたい93カ所を「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しています。今回は、その中から7カ所を、今月号(4カ所)・来月号(3カ所)に分けてご紹介いたします。

※記事で紹介しております施設の開園状況やイベント開催等については、事前にHP等で情報をご確認ください。
※お出かけの前には気象情報を確認し、天候の変化に対応できるよう服装を準備したり、履きなれた運動靴やトレッキングシューズ等を着用してください。

秋の十勝岳



01

しろがね

白金自然休養林

北海道森林管理局上川中部森林管理署

北海道**上川郡美瑛町**

十勝岳連峰を背景に雄大な天然林が広がる景観

春の美瑛岳



白金野営場



白ひげの滝



青い池



概要

白金自然休養林は、北海道中央部に位置する大雪山国立公園の西側、大雪山系のほぼ南端にあり、旭川市の南東約44km、美瑛町の市街地から南東約20kmの地点にして、十勝岳(2,077m)、美瑛岳(2,052m)、美瑛富士(1,888m)の麓に位置しています。

日本百名山の一つであり、北海道有数の活火山でもある十勝岳は、今もなお、白い噴煙を吹き上げています。そんな自然の力強さを感じさせてくれる十勝岳連峰を背景として、その裾野に広がり、豊かにして雄大な景観を呈している森林が白金自然休養林です。

楽しみ方

白金自然休養林にはいくつかの遊歩道があり、トドマツ、アカエゾマツ、ダケカンバ等を主とする針広混交林や森林の間をぬって流れる美瑛川の清流を見ながら、自然散策を楽しめます。また、自然休養林内には白金温泉や名所の白ひげの滝のほか、白金野営場があり、北海道の豊かな自然に囲まれて、テントやケビンでの宿泊やデイキャンプも可能です。さらに、十勝岳登山にも利用可能な遊歩道のスタート地点である十勝岳望岳台(展望台)までは、白金野営場から車で約5分と好立地なため、縦走登山にもチャレンジできるほか、野営場周辺には、吹上温泉や青い池などの名所もあり、多くの利用者で賑わっています。

なお、各所や各施設等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の状況については、事前にHP等で確認をお願いします。

アクセス

旭川駅から美瑛駅までJRで約40分

旭川空港から美瑛駅までバスで約15分

美瑛駅から白金温泉まで車で約25分

旭川空港から白金温泉まで車で約40分

※情報サイト:

美瑛町HP <http://town.biei.hokkaido.jp/>

一般社団法人美瑛町観光協会HP <https://www.biei-hokkaido.jp/ja/>



仁別自然休養林

東北森林管理局秋田森林管理署

秋田県秋田市仁別

希少な天然秋田スギ「仁別国民の森」

仁別森林博物館前の天然秋田スギ林



概要

「仁別国民の森」は、昭和41年に林野庁が明治100年記念事業として、全国で6箇所設定した「国民の森」のひとつであり、「天然秋田スギ」を保存・展示し、市民の憩いの場として利用されています。

昭和44年度からは自然休養林制度の制定に伴い、自然休養林として「天然秋田スギ」を保存しているほか、「仁別森林博物館」の見学や四季折々の優れた自然景観を楽しめるほか、時折、ニホンカモシカ（特別天然記念物）の姿も見ることができます。

楽しみ方

自然休養林内には、「森の巨人達100選」に選ばれ、「国民の森」のシンボリックな存在である天然秋田スギの「夫婦スギ」等が見られます。この夫婦スギは、根元から分かれた2本の天然秋田スギが寄り添い、あたかも仲むつまじい夫婦の様相を呈していることから名付けられており、向かって左が「女木」、右が「男木」です。

仁別森林博物館の周辺を流れる旭川の流域最上部には、太平山（日本三百名山：標高1,170m）が鎮座しており、山岳信仰や日帰り登山の場として利用されています。好天時には、日本海や男鹿半島、秋田市一円、遠く鳥海山や岩手山まで一望できます。紅葉シーズンには、仁別自然休養林の象徴的な天然秋田スギの蒼林とカエデ類など紅葉の鮮やかさに触れることができます。

なお、例年であれば、かつて森林鉄道で活躍した機関車、天然秋田スギや森林・林業の歴史などの展示・紹介を無料で見学することができる仁別森林博物館は、今般の新型コロナウイルス感染症の影響から開館を見合わせております。また、夫婦スギを見に行く際には旭川を渡るためのつり橋の散策路と木橋「夫婦橋」の散策路の2ルートがありますが、今年度、木橋「夫婦橋」の架け替えを予定していますので、つり橋のみを渡る散策路のご利用をお願いします。

アクセス

JR秋田駅から約25km 車で約50分

東北自動車道秋田中央IC→（一般道、仁別林道：約50分、23.6km）→仁別森林博物館

※情報サイト：

東北森林管理局HP仁別森林博物館

http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/introduction/gaiyou_kyoku/nibetu/index.html

「夫婦スギ」左が女木、右が男木



紅葉期の仁別森林博物館付近



仁別森林博物館内



太平山頂上より日本海、男鹿半島を一望、右側流域が自然休養林

武尊自然休養林

関東森林管理局利根沼田森林管理署
群馬県利根郡片品村、川場村、みなかみ町
伝説と信仰、360°の絶景の山頂

沼田市内からみた武尊山



概要

武尊自然休養林は、群馬県北西の名峰武尊山(標高2,158m)を中心として、みなかみ町、川場村、片品村の3町村に位置しています。各町村にある武尊山への登山口から稜線沿いに登山道が整備されており、初心者からベテランまで登山を楽しむことができます。

また、武尊山は日本武尊が東国征討の際に登ったという伝説に起因して名づけられたと云われており、山頂には日本武尊の像が建立され、伝説と信仰の山としても知られています。

楽しみ方

武尊牧場キャンプ場や川場野営場、各山頂などをつなぐ武尊自然観察遊歩道や登山道などでは、多くの高山植物を観察することができ、田代湿原周辺のヒメカイウヤコバイケイソウの群生地では8月にかけて見頃を迎えます。

秋にはブナの原生林を中心とした色彩豊かな紅葉狩りも魅力の1つです。

冬になるとスキーを楽しむことができます。武尊山麓にはスキー場も多くありますが、中でも、川場スキー場からはリフトを利用した稜線歩きによる冬山登山は、夏季には味わえない素晴らしい景色を堪能することができます(入山する際には、スキー場のルールを守って下さい)。

また、例年9月には、登山道等を利用した上州武尊山スカイビュートレイルが開催され毎年1,000人以上のアスリートが参加しています。中でも2日間に渡り約140kmを駆け抜ける部門は全国からの強者が揃い圧巻です。ご興味のある方はチャレンジしてはいかがでしょうか。ただし、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、今年度の上州武尊山スカイビュートレイルは残念ながら中止が決定しております。

アクセス

(代表的な登山口)

みなかみ町登山口(裏見の滝駐車場): 水上駅からタクシー若しくはレンタカーで約40分
水上ICから車で約45分

川場村登山口(ベースキャンプ川場又は川場スキー場)

: 沼田駅からタクシー若しくはレンタカーで約30分

沼田ICから車で約30分

片品村登山口(武尊牧場キャンプ場)

: 沼田駅からタクシー若しくはレンタカーで約70分

沼田ICから車で50分

※情報サイト:

みなかみ町観光協会:

<http://www.enjoy-minakami.jp/>



片品村観光協会:

<https://oze-katashina.info/>



川場村観光協会:

<http://www.kawabakankou.gunma.jp/>



川場スキー場:

<https://www.kawaba.co.jp/>



日本武尊像



夏の武尊山



紅葉のブナ林



川場スキー場の様子(写真提供:川場スキー場)

2019年度上州武尊山スカイビュートレイルの様子
(写真提供:cRyo Yamamoto)

湯の丸・高峰自然休養林

中部森林管理局東信森林管理署 長野県東御市・
上田市湯の丸高原、長野県小諸市高峰高原
ひとめ70万株のレンゲツツジと高山植物の
女王コマクサに逢える花高原

池の平湿原(提供:信州とうみ観光協会)



コマクサ(写真提供:信州とうみ観光協会)



レンゲツツジと西麓ノ登山



ヤナギラン



アザミとミヤマシロチョウ



コキンレイカ(ハクサンオミナエシ)

概要

湯の丸・高峰自然休養林は、上信越高原国立公園の南西に位置し、長野県の東御市と上田市、小諸市にまたがる湯の丸高原と高峰高原を含んだエリアです。浅間連山の西側に位置するこのエリアは火山活動の影響により、西麓ノ登山など2,000m級の山々や池の平に広がる高層湿原など地形が変化に富んでおり、1,000種以上が生育しているといわれる高山植物の宝庫で、春から秋にかけて様々な花が楽しめるため「花高原」として親しまれています。

また、標高1,700mを超えるエリアで陸上や水泳の高地トレーニングを行うことができる施設が森林の中に整備されており、注目されています。

楽しみ方

湯の丸山(2,101m)、烏帽子岳(2,066m)、西麓ノ登山・東麓ノ登山(2,227m)、高峰山(2,106m)など2,000m級の山々は比較的登りやすく、初心者登山入門コースとして人気があります。体力のある方は、高峰高原から浅間山を目指すのもおすすめです(当日の浅間山の噴火警戒レベルをご確認ください)。天候に恵まれれば、ハケ岳、富士山、北アルプスなどの素晴らしい眺めを楽しむことができます。また、もっと気軽に散策を楽しみたい方には、池の平湿原がおすすめです。木道で整備された散策コースはお子様も安心して楽しむことができます。

高山植物の宝庫といわれるこのエリアは、グリーンシーズンを通じて様々な花が咲き誇り、夏のこの時期は、コマクサ、アヤメ、レンゲツツジ、ニッコウキスゲ、コキンレイカ、ヤナギラン、マツムシソウ、リンドウ、アザミなどが見頃です。

なお、今年の夏は新型コロナウイルス感染症対策として、長野県は余裕のある登山を呼びかけています。三密を避けるなど、基本的な感染防止対策をとりながら、高山植物観察をお楽しみください。

アクセス

湯の丸高原へのアクセス 公共機関: しなの鉄道 滋野駅からタクシーで約30分
自家用車: 上信越自動車道 東部湯の丸ICから約30分
高峰高原へのアクセス 公共機関: しなの鉄道 小諸駅からバスで約40分
北陸新幹線 佐久平駅よりバスで約1時間
自家用車: 上信越自動車道 小諸ICから約30分

※情報サイト:

信州とうみ観光協会 <http://tomikan.jp/genre/experience/yunomaruhighland/>
こもろ観光局 <https://www.komoro-tour.jp/asama/>



☆今回紹介した『日本美しの森 お薦め国有林』の詳細や、他の場所についてもウェブサイトで紹介していますので、ご覧ください。



「新しい生活様式」を森林や木材との関わりを持ちながら実践しよう

これまで誰も経験したことのない脅威の「新型コロナウイルス感染症」。私たちはこの事態に直面し、「3密」の回避や在宅でのテレワークなど、人と人の接触を避けた新しい生活様式が求められるようになってきました。今後油断することなく、感染拡大を防ぐための対策が必須となります。このようにライフスタイルが大きく変化する中、私たちの暮らしにさまざまな効果が期待できる森林での活動や木材の利用を新しい生活様式に取り入れてみてはいかがでしょうか。

ウッド・チェンジDE 新しい生活様式

①屋外空間で気持ち良く

感染防止の基本は、「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」の3



Roll Press Wood+
ウッドデザイン賞 2018 受賞



木製遊具もくもくトリデ
ウッドデザイン賞 2017 受賞

つです。遊びに行く際は人との密な接触を避けるためにも屋内より屋外を選ぶことが推奨されています。そこでおすすめしたいのが、木製遊具のある公園や木材を使用した堀・エクステリアのある庭での時間を過ごすこと。木のぬくもりや香りを感じながら遊べる屋外空間を選ぶことで、感染のリスクを抑えながらリフレッシュして気持ち良く過ごすことが期待できます。

②地方発の優れた木製品で おうち時間を快適に



新しい生活様式になり、自宅で過ごす時間が増える中で、ストレスなくおうち時間を快適に過ごすことが重要です。その一翼を担うのが、リラックス効果の期待できる木製品です。現在、木製品は家具やインテリアだけでなく、ストローなどの食器や玩具・遊具、ルームフレグランスなど多岐にわたっており、私たちの生活に身近な存在となっています。例えば、木の良さや価値を再発見する製品や取組を表彰するウッドデザイン賞は今年が6回目となり、優れた機能性とデザイン性を併せ持つ製品が多く輩出されています。一度、この機会にどんな製品や取組があるか、HPをご覧ください。みてはいかがでしょうか。

<https://www.wooddesign.jp/>



きのこで健康増進



toy house ウッドデザイン賞 2019 受賞



国産杉の頑丈キッチンラック
ウッドデザイン賞 2019 受賞

また、森林を代表する食材「きのこ」には、免疫を活性化させるβグルカンなど健康増進に効果のある成分が含まれています。新しい生活様式のもと食生活に「きのこ」を取り入れてみてはいかがでしょうか。

③ 森林や郊外で3密回避した 新たなライフスタイルを

近年では森林による効果への期待が高まり、健康、観光、教育の場として森林空間が活用されてきました。また、今般のテレワークなどの新たなライフスタイルを実現する場として、都会を離れた郊外での生活も選択肢の一つとして考えられるようになってきました。このように、森林は密集・密接・密閉の3密を避ける場所としてだけでなく、心や体の健康維持のためにも、娯楽やリラクゼーション、そして働く場としても新しい生活様式に最適な場所と言えるのではないのでしょうか。



森林空間を生かした自然保育

④ 木製品で感染予防しながら 経済活動

今後もテレワークやローテーション勤務など、働き方の面でも新しい生活様式を推進することが想定されます。そして、オフィスや公共の場などあらゆる場面において、間伐材から作られた糸を使用した布マスクや薄くスライスしたヒノキを使用したマスク、飛沫を防止するパネルにも地域の木材を活用するなど、感染予防のために木製品が利用される例が見られます。木材を使うことで柔らかな雰囲気を出します。経済活動を進めるにあたり、心や体がリラックスできる素材として木材を活用されてみてはいかがでしょうか。



極薄のヒノキを使った立体マスク及び間伐材から出来た木糸で作られたマスク



日本各地の木材を使用したオフィスで健康的で生産性の高い働く空間を実現

我が国の森林の循環利用と SDGsとの関係

世界には、SDGsという国際社会共通の目標があります。これは、2015年の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に含まれる持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことです。持続可能な形で生産された木製品の利用や森林空間の活用は、森林整備につながるなどさまざまな角度からSDGsに貢献します。

新しい生活様式を実践しながら、SDGsの達成に向けて森林・林業・木材産業に新しいビジネスチャンスを生み出す、そんな時代がくることが期待されます。

※詳細については令和元年度白書をご参照ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r1hakusyo/index.html>



2019年度の「林業遺産」に 6件が選定されました！

日本各地の林業は、地域の森林をめぐる人間の営みの中で編み出され、明治期以降は海外の思想・技術も取り入れつつ、大戦期の混乱を経て今日に至るまで、多様な発展を遂げてきました。日本森林学会では、学会100周年を契機として、こうした日本各地の林業発展の歴史を、将来にわたって記憶・記録していくための試みとして、「林業遺産」選定事業を2013年度から開始しました。7年目となった2019年度は、6件を林業遺産(登録No.36~41)として認定しました。選定結果は、2020年5月27日の日本森林学会定時総会において公表され、認定証・記念品が各件の所有者・管理者等に贈呈されました。

「林業遺産」についての詳細情報は、日本森林学会のホームページをご参照ください。

<https://www.forestry.jp/activity/forestrylegacy/>



4 米沢市の山との暮らしを伝える
遺産群:草木塔群と木流し(山形県米沢市)



留め場の跡



草木塔の例



展示林の林況



上掛け式の水車



全景



文献センターでの資料閲覧の様子



明治36年(1903年)時点の積苗工の施工状況

1 湯野風穴種子貯蔵施設遺構	1949 (昭和24)年頃	福島県福島市 飯坂町湯野	戦後の活発な植林・種苗事業の歴史を伝える、状態良好な風穴利用種子貯蔵施設
2 大日本山林会 林業文献センターと収集資料群	1977 (昭和52)年	東京都港区赤坂	設立以来、組織的方針のもとに収集・保存・ウェブ公開されてきた、貴重かつ膨大な林業関係資料群
3 平蔵沢ヒバ人工林施業展示林	1843 (天保14)年頃	岩手県滝沢市 影添国有林	東北地方最古のヒバ人工造林地
4 米沢市の山との暮らしを伝える遺産群:草木塔群と木流し	木流し: 1605(慶長10)年頃、草木塔: 1780 (安永9)年	留め場跡:米沢市大字入田沢字八谷地内 草木塔群:米沢市大字入田沢 字塩地平地内ほか	江戸時代に始まる大規模な薪材流送の歴史を物語る遺構と、山村民の山や草木への想いを物語る石碑群
5 再度山の植林と関連資料	1902 (明治35)年	(遺構群)兵庫県神戸市北区 山田町下谷上字中一里山	六甲山系の砂防・植林事業の歴史を今に伝える資料群と遺構群、及び再生した森林
6 大型木製水車駆動帯鋸製材装置一式	1937 (昭和12)年	岡山県美作市右手	製材技術の歴史を今に伝える、稼働可能な水車式製材施設



▲左からバジル、ブロッコリースプラウト、ベビーリーフ、ミニトマト

みどりの 女神が行く!

ミス日本みどりの女神
いどがわ ももか
井戸川 百花



こんにちは。ミス日本2020みどりの女神の井戸川百花です。

緊急事態宣言が解除され、段階的に普段の生活を取り戻しつつあります。みどりの女神の活動が増え、森林やみどりの取り組みをどんどん発信出来たらと楽しみにしています。

自粛期間に家庭菜園を開始

ここでは私が自粛期間の生活を少しご紹介したいと思います。

暮らしの中に緑を感じたいと心掛けて過ごして参りました。そこで始めたのが家庭菜園です。ミニトマト、バジル、ブロッコリースプラウト、ベビーリーフ、豆苗を育てています。水やり、植え替え、追肥など世話をしていると愛着が湧いてきます。

ミニトマトが黄色い花を咲かせ、小さな緑の実が成っていきます。日々成長する度に感動を覚えました。これからミニトマトが真っ赤な実に成長するのが楽しみです。

小さな種が毎日劇的に成長していく様子は生命力の強さを教えてくれました。何よりいきいきとした緑が生活の中にあることで明るい気持ちになり、毎日が活気づいていくのが不思議でした。やはり緑のパワーはすごいですね。



▲きのご栽培キットが届きました

また意外な野菜も育てています。なんと椎茸を栽培しています。森産業様のご栽培キット「しいたけ農園」は、1日2回の霧吹きをするだけで2週間以内には多くて50個もの椎茸を収穫でき、それを3巡も出来るそうです。早速1巡しましたが毎日驚くようなスピードで成長していくのは見てても楽しいですし、愛情込めて育てた野菜を使い自分の手で工夫しながら料理し、木のお皿に盛り付けると見た目にも嬉しくなっています。命の有難さを感じながら食べる料理は普段の何倍もの美味しさです。

皆さんもぜひ家庭菜園をされてみてはいかがでしょうか。

歴代の女神とともに

SNSからみどりの情報を発信

そしてこの自粛期間に歴代みどりの女

神の皆さんと始めたことをお知らせしたいと思います。ご存知のように「コロナ禍、自粛要請により」「みどりの月間」「みどりの日」など、林業界における大切な期間を盛り上げることが出来なくなっていました。

そこでみどりの女神から何か出来ることはないか、少しでもお役に立ちたいという気持ちから、ステイホーム生活を充実させ、緑からの恩恵を感じていただける取り組みを発信していこうと考え、歴代みどりの女神が運営するインスタグラムアカウントを新設しました。そこではみどりの女神のお仕事や、森林や緑、自然の魅力、木づかい、日常に取り入れているみどりについて、そしてプライベートのことまで様々なことを発信しています。

@missjapan_green

5月4日に開設したこのアカウントを是非チェックしていただけたらと思います。



▲たくさんの椎茸が収穫できました

令和2年度 木材利用優良施設コンクール募集案内

「令和2年度木材利用優良施設コンクール」の募集が始まりました。

木材利用優良施設コンクール（木材利用推進中央協議会主催）は、木材利用の一層の推進を図り国産材の需要を拡大するため、デザイン性に優れた施設、木造化・木質化のための最新技術を活用した施設、木材の柔らかさや温もりなどの特性を活かした魅力ある施設などについて、評価し表彰するものです。

募集期間は、7月13日（月）から8月17日（月）までとなっております。

地域材を有効活用した木の施設のご応募をお待ちしております！

これまでの受賞施設例



窓口棟ラウンジ

屋久島町庁舎（鹿児島県熊毛郡屋久島町）

※令和元年度内閣総理大臣賞



窓口棟から見る中庭



議会棟屋久島ホール



CLTの木質感を表出させた外観

兵庫県林業会館（兵庫県神戸市）

※令和元年度農林水産大臣賞

（写真提供：株式会社竹中工務店）



木の香りがするオフィス



エントランス

応募について

木材利用推進中央協議会 HP

<http://www.jcatu.jp/concours/>



応募方法：上記 HP より様式をダウンロードして郵送又はメールでお送りください。

郵送の場合：〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-3

木材利用推進中央協議会 担当 肥後、米望

メールの場合：contest-2020-accept@zenmoku.jp

応募期間：7月13日（月）～8月17日（月）

審査費用：無料

お問い合わせ

木材利用推進中央協議会 TEL:03-3580-0335

